

## USB-LINKM



**USB**  
UNIVERSAL SERIAL BUS

# USBリンクケーブル 巻き取り

最初に  
ご確認ください。

セ  
ッ  
ト  
内  
容

USBリンクケーブル(巻き取り) ..... 1本  
ドライソフト(CD-ROM) ..... 1枚  
取扱説明書(本書) ..... 1部

万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、当社Web(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## はじめに

このたびは、USBリンクケーブル(USB-LINKM)をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品はUSBポートをサポートしているパソコンどうしを接続して、専用ソフトでデータ通信を行うためのアダプタケーブルです。

本製品をご使用になる前に必ずこのマニュアルをよくお読みください。

本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。

本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

本書の内容については予告なしに変更することがございます。

本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のもものと異なることがあります。

## ⚠ 取り扱い上のご注意

雷がなっている時に、本製品に触れないでください。

落雷により感電する恐れがあります。

本製品のカバーを開けたり、分解したりしないでください。

故障や感電の原因となることがあります。

濡れた手で本製品に触らないでください。

本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。

本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。

感電や火災、故障の原因となることがあります。

本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ほこりや湯煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管したりしないでください。

故障・感電などの原因となることがあります。

本製品を抜き差しする時には、必ずコネクタ部分を持ち無理な力を加えないでください。

故障・破損などの原因となることがあります。

本製品は、家具で踏んだり、扉ではさんだりしないでください。また本製品を引っ張ったり折り曲げたりしないでください。

火災や故障の原因となることがあります。

本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。

定期的にバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。

本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。

塗装を傷めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。

## 動作環境

各社DOS/Vパソコン

NEC PC98-NXシリーズ

Apple iMac/iBook/PowerMac G4/G3/PowerBook G4/G3シリーズ

ただし、CD-ROMドライブとUSBポートを持ち、パソコン本体メーカーがUSBポートの動作を保証している機種。

OS：日本語Microsoft® Windows® XP・2000・Me・98SE・98

Mac OS 8.6～9.2.2(Mac OS Xは対応していません。)

## 注意事項

本製品はファイル転送用の製品です。ファイルの転送(コピー)や移動、消去以外の操作はできません。

Windows・MacOS間でファイル変換を行うことはできません。

Windowsのエクスプローラー、MacのFinderなど他のソフトとの間でドラッグ&ドロップなどの操作はできません。

本製品のクリップボードはOSからは独立したものです。クリップボード経由で他のソフトとのファイルのコピーなどは行えません。

Windowsで削除したファイルはごみ箱には残りません。

本製品のファイル保護はOSからは独立したものです。OSの設定からは無関係に操作ができてしまいますので、誤っての削除、コピー、移動などについては十分ご注意ください。

重要なファイルのバックアップやセキュリティなどの対策を講じられることをお勧めします。

本製品の使用によるファイルやデータの消失、破損などにつきましては、弊社はいかなる責任も負いかねます。

## USBに対応したパソコンかどうか確認するには (Windows)

1. Windowsデスクトップ上の「マイコンピュータ」をマウスで右クリックしてコンテキストメニューを開いてください。メニューの中から「プロパティ」を選んで「システムのプロパティ」画面を開きます。



2. 「デバイスマネージャ」タブをクリックして、「種類別に表示」にチェックマークがあることを確認してください。

(Windows® XP・2000の場合「ハードウェア」タブをクリックして「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。)

3. 一覧リストの中に「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」が表示されていればUSBに対応したパソコンです。この表示がなかったり、この表示の下に「Host Controller」や「USBルートハブ」のアイコンに「x」や「!」のマークが付いている場合はUSBが正常に動作していませんので、パソコンのメーカーに相談してください。

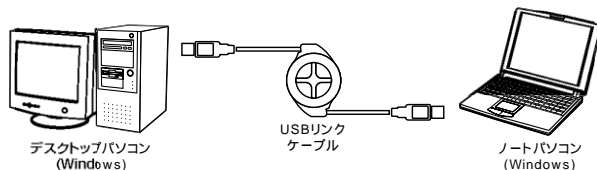
## 接続例

接続するパソコンの両方にUSBリンクケーブルのドライバソフトとリンクプログラム(PC-Linq)をインストールする必要があります。

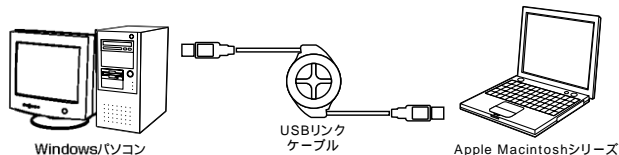
接続先のUSBポートを変更した場合も再度インストールを行う必要があります。

注意 USBリンクケーブルを接続する前に必ず付属のドライバソフト(CD-ROM)をすぐ使用できるように準備しておいてください。  
ドライバソフトをインストールせずにUSBリンクケーブルのみを接続しても動作しません。また、この場合USBリンクケーブルが正常に使えなくなる場合があります。

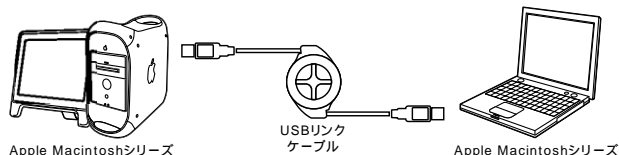
### デスクトップパソコンとノートパソコンを接続(Windows)



### WindowsパソコンとApple Macintoshシリーズを接続 Mac OS Xには対応していません。



### Apple Macintoshシリーズどうしを接続 Mac OS Xには対応していません。



パソコンに接続すると、コネクタ内のLEDが点灯します。

## セットアップ

セットアップ(ケーブルの接続・ドライバソフトのインストール・リンクプログラムのインストール)は、接続するパソコン2台とも同じように行ってください。1台のみセットアップを行っても通信することはできません。

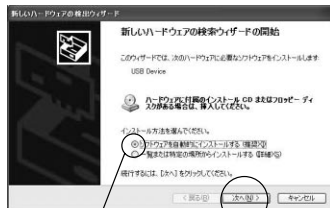
### セットアップ(インストール)の前に

#### 注意

本製品はマイクロソフトのWindowsロゴテストを受けた製品ではありません。インストール中に「このハードウェア：USB Bridge Cableを・・・・・・ロゴテストに合格していません。」と、警告メッセージが出た場合は「続行」をクリックしてインストールを続行してください。

### WindowsXPの場合

1. パソコンの電源をONにし、Windowsを起動させます。
2. USBリンクケーブルのコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。
3. USBBridgeCableと認識し新しいハードウェアのインストールが始まります。
4. 「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始が表示されたらCD-ROMをパソコンにセットしてください。
5. 「ソフトウェアを自動的にインストールする」にチェックマークを入れ「次へ」をクリックしてください。



チェックマーク

6. インストールが始まりやがて「次のハードウェアのソフトウェアのインストールが完了しました。」と表示されたら「完了」をクリックしてください。

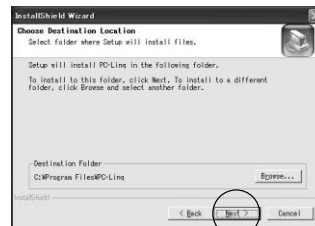


### WindowsXPの場合 (続き)

7. 続いて「InstallShield Wizard」が自動起動し「PC-Linq」ソフトウェアのインストールが始まりますので「Next」をクリックしてください。



8. 「Choose Destination Location」(インストール先の指定)画面になります。「Next」をクリックしてください。



9. 「Select Program Folder」(プログラムフォルダ名の指定)画面になります。「Next」をクリックしてください。



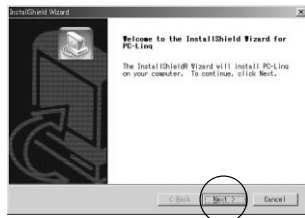
10. インストールが終了するとデスクトップに「PC-Linq」アイコンが新しく作られ、インストールが終了します。
11. 以上でインストールは終了です。



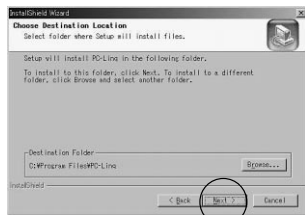
## Windows 2000の場合

1. パソコンの電源をONにし、Windowsを起動させます。
2. CD-ROMをパソコンにセットしてください。
3. デスクトップの「マイ コンピュータ」をダブルクリックし、その中のCD-ROMをダブルクリックして開いてください。
4. CD-ROMの中の「Set up」プログラムをダブルクリックして実行してください。

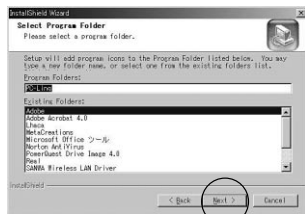
5. 「InstallShield Wizard」が起動し、「PC-Linq」ソフトウェアのインストールが始まりますので「Next」をクリックしてください。




6. 「Choose Destination Location」(インストール先の指定)画面になります。「Next」をクリックしてください。



7. 「Select Program Folder」(プログラムフォルダ名の指定)画面になります。「Next」をクリックしてください。



## Windows 2000の場合

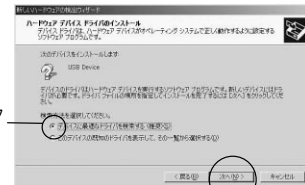
8. インストールが終了するとデスクトップに「PC-Linq」アイコン  が新しく作られ、「PC-Linq」のインストールが終了します。
9. USBリンクケーブルのコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。

10. 「新しいハードウェアのウィザードの検索ウィザードの開始」画面が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



11. 「ハードウェアデバイスドライバのインストール」画面となるので、「デバイスに最適なドライバを検索する」にチェックを付け「次へ」をクリックしてください。

チェックマーク



12. 「ドライバファイルの特定」画面となるので、「CD-ROMドライブ」にチェックマークを付け、「次へ」をクリックしてください。

チェックマーク



## Windows 2000の場合 (続き)

13. 「ドライバファイルの検索」画面となるので、「次へ」をクリックしてください。



14. 「新しいハードウェアのウィザードの検索ウィザードの完了」画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。



15. 以上でインストールは終了です。

## Windows Meの場合

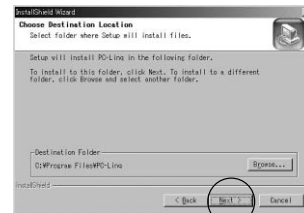
1. パソコンの電源をONにし、Windowsを起動させます。
2. CD-ROMをパソコンにセットしてください。
3. デスクトップの「マイ コンピュータ」をダブルクリックし、その中のCD-ROMをダブルクリックして開いてください。
4. CD-ROMの中の「Set up」プログラムをダブルクリックして実行してください。

5. 「InstallShield Wizard」が起動し、「PC-Linq」ソフトウェアのインストールが始まりますので「Next」をクリックしてください。



## Windows Meの場合 (続き)

6. 「Choose Destination Location」(インストール先の指定)画面になります。「Next」をクリックしてください。



7. 「Select Program Folder」(プログラムフォルダ名の指定)画面になります。「Next」をクリックしてください。



8. インストールが終了するとデスクトップに「PC-Linq」アイコンが新しく作られ、「PC-Linq」のインストールが終了します。
9. USBリンクケーブルのコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。

10. 新しいハードウェアのウィザードが表示されたら「適切なドライバを自動的に検索する」にチェックを付け「次へ」をクリックしてください。



チェックマーク

11. USB Bridge Cableと認識し新しいハードウェアのインストールが始まります。

## Windows Meの場合 (続き)

12. インストールが終了すると「次のハードウェアのインストールが完了しました。」と表示されるので「完了」をクリックしてください。

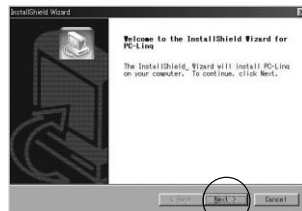


13. 以上でインストールは終了です。

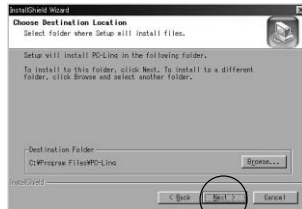
## Windows 98 SE/98の場合

1. パソコンの電源をONにし、Windowsを起動させます。
2. CD-ROMをパソコンにセットしてください。
3. デスクトップの「マイ コンピュータ」をダブルクリックし、その中のCD-ROMをダブルクリックして開いてください。
4. CD-ROMの中の「Set up」プログラムをダブルクリックして実行してください。

5. 「InstallShield Wizard」が起動し、「PC-Linq」ソフトウェアのインストールが始まりますので「Next」をクリックしてください。




6. 「Choose Destination Location」(インストール先の指定)画面になります。「Next」をクリックしてください。



## Windows 98 SE/98の場合 (続き)

7. 「Select Program Folder」(プログラムフォルダ名の指定)画面になります。「Next」をクリックしてください。



8. インストールが終了するとデスクトップに「PC-Linq」アイコンが新しく作られ、「PC-Linq」のインストールが終了します。
9. USBリンクケーブルのコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。

10. 新しいハードウェアのウィザードで、「次の新しいドライバを検索しています...」と表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



11. 「検索方法を選択してください。」と表示されている画面で、「使用中のデバイスに適切なドライバを検索する」にチェックを付け、「次へ」をクリックしてください。

チェックマーク



- 12.「新しいドライバは、ハードドライブの……」  
「次へ」をクリックしてください。」と表示されている画面で、「CD-ROMドライバ」にチェックマークをつけ、「次へ」をクリックしてください。

チェックマーク



- 13.「次のデバイス用のドライバファイルを検索します。USB Bridge Cable……」続行します。」と表示されている画面で「次へ」をクリックします。



- 14.「USB Bridge Cable 新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」と表示されたら「完了」をクリックしてください。



- 15.以上でインストールは終了です。

ドライバのインストールを行ってから、USBリンクケーブルをパソコンに接続してください。  
(パソコンにドライバをインストールする前には、USBリンクケーブルを接続しないでください。)

- 1.パソコンの電源をONにして、Mac OSを起動させます。
- 2.CD-ROMをパソコンにセットしてください。
- 3.ドライバCDの中の「MAC\_DRIVE」フォルダの中にある「INSTALL.SIT」をダブルクリックしてください。



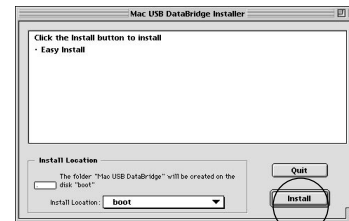
- 4.ダブルクリックしたら、デスクトップに「Mac USB Data Bridge Installer」のアイコンが現れます。それをダブルクリックしてください。



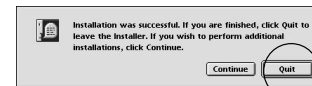
- 5.次のようなメッセージが出てきます。マウスを1回クリックしてください。



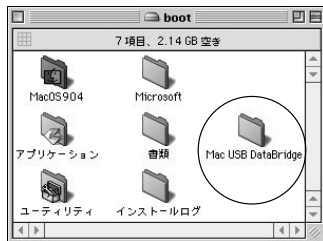
- 6.以下のようなインストーラの画面が現れます。インストールボタン「Install」をクリックしてください。



- 7.しばらくすると、次のような画面になります。「Quit」をクリックしてください。



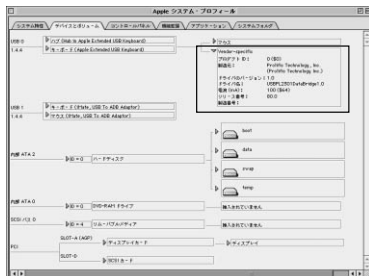
- 8.ドライバをインストールしたハードディスクの中をチェックしてください。  
「Mac USB DataBridge」というフォルダが作成されています。



9. 以上でソフトウェアのインストールは終了です。  
(パソコンを再起動後、インストールは有効になります。)

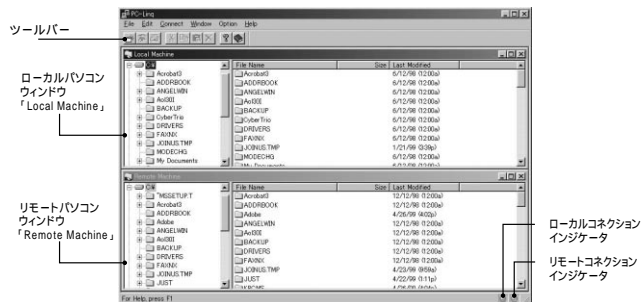
10. パソコンを再起動してから、USBリンクケーブルをパソコンに接続してください。ドライバソフト(USBPL2301DataBridge1.0)は自動的にインストールされます。(画面上には特に変化はありません。)

正常にインストールされているかどうかを確認するには、「アップルメニュー」の「Appleシステム・プロフィール」の「デバイスとボリューム」の画面を表示させてください。以下のように表示されている場合は、USBリンクケーブルは正常にインストールされています。



## リンクプログラムの操作 (Windows)

1. デスクトップの「PC-Linq」アイコンをダブルクリックしてください。  
接続しているパソコン2台とも「PC-Linq」を起動させてください。
2. 「PC-Linq」ファイルマネージャの画面が表示されます。  
この「PC-Linq」はWindowsの「エクスプローラ」と同じようにファイルをドラッグ&ドロップでコピーしたり、消去したりすることができます。



### ローカルパソコンウィンドウ

通信をしているこちら側の内容を表示しています。

### リモートパソコンウィンドウ

通信をしている相手側のパソコンの内容を表示しています。

### ローカルコネクションインジケータ

### リモートコネクションインジケータ

ローカルパソコン・リモートパソコンそれぞれの状態を表示しています。このインジケータが両方とも緑色の時に通信を行うことができます。どちらかが片方が赤や両方とも赤色の時は通信をすることができません。

インジケータが赤色の時は、USBリンクのコネクタが接続されているかどうか、パソコンがスタンバイ(サスペンド)モードになっていないか、「PC-Linq」のプログラムが起動しているかどうかなどを確認してみてください。

「File」メニュー「New Folder」で新しいフォルダを作る場合に日本語入力で文字を入力し確定すると文字化けをしますが、実際にウィンドウ内に表示されるときには正しく表示されます。



## メニューバーについて

File	NewFolder	「新規フォルダ」を作る
	View	選択中のファイルを開く
	Print	選択中のファイルを印刷
	Exit	終了
Edit	Cut	カット
	Copy	コピー
	Paste	ペースト
	Delete	消去
Connect	Local	ローカルウインドウを開く
	Remote	リモートウインドウを開く
Window	Cascade	ウインドウをカスケード(重なり合って)表示します
	Tile	ウインドウをタイル(横並びで)表示します。
	Close	選択中のウインドウを閉じる
Option	Refresh	選択中のウインドウを最新内容で再表示
	ToolBar	ツールバーの表示(非表示)
	Settings	オプション設定
Help	Help Topics	ヘルプ情報のトピックが表示されます (内容は英文)
	About	本ソフトの情報表示

## Settings(オプション設定)について

Allow system suspend	サスペンドを有効にする/無効にする
Cable ID	ケーブルID番号の設定
Read Only	読取専用ファイルの表示/非表示
Archive	アーカイブファイルの表示/非表示
Hidden	隠しファイルの表示/非表示
System	システムファイルの表示/非表示

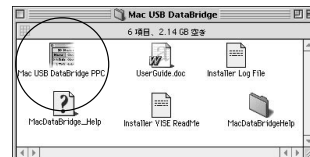
## ツールバーについて



「新規フォルダ」を作る
選択中のファイルを開く
選択中のファイルを印刷
カット
コピー
ペースト
消去
本ソフトの情報表示
ヘルプ情報のトピックが表示されます (内容は英文)

## リンクプログラムの操作 (Mac)

1. 「Mac USB DataBridge」フォルダを開け、「Mac USB DataBridge PPC」アイコンをダブルクリックしてください。



2. ファイル転送プログラム画面が起動します。最初に開いているのは、ローカルパソコンウインドウ(こちらのMac側)とコネクションインジケータのツールボックスです。ローカルパソコンウインドウの中には、ハードディスクの内容が表示されています。相手側のパソコン(リモートパソコン)との接続が正常に行われている時には、コネクションインジケータは両方とも緑色になっています。



3. 相手側のパソコンのファイルを表示させるには、「Connect」をクリックし、「Remote 兼」を選択してください。

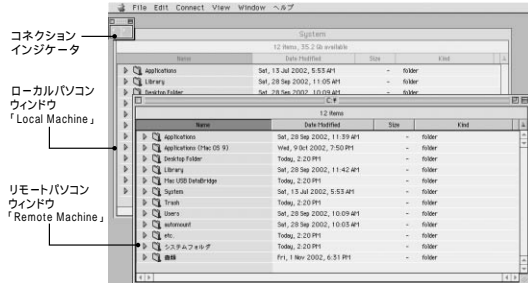


4. リモートパソコンのボリューム(ドライブ)選択画面が表示されます。プルダウンメニューでドライブを選択し、「OK」をクリックしてください。

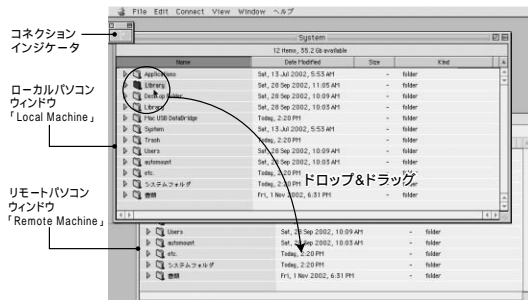


## リンクプログラムの操作 (Mac) (続き)

5. リモートパソコンのウィンドウが表示されます。このようにして必要なドライブのウィンドウを開くことができます。 ウィンドウ内のフォルダを開くと、新しいウィンドウが表示されます。



6. ウィンドウの中から転送するファイルを選択し、転送先ヘドロップ&ドラッグするだけで転送されます。



ローカルパソコンウィンドウ...通信をしているこちら側の内容を表示しています。  
コネクションインジケータ...ローカル/パソコン-リモート/パソコンそれぞれの状態を表示しています。  
このインジケータが両方とも緑色の時に通信を行うことができます。どちらかが片方が赤や両方とも赤色の時は通信をすることができません。  
リモートパソコンウィンドウ.....通信をしている相手側のパソコンの内容を表示しています。

インジケータが赤色の時は、USBリンクのコネクタが接続されているかどうか、パソコンがスタンバイ(サスペンド)モードになっていないか、「Mac USB DataBridge PPC」のプログラムが起動しているかどうかなどを確認してみてください。

## メニューについて

File	NewFolder	「新規フォルダ」を作る		
	Open	選択中のフォルダを開く、もしくはファイルは実行		
	Move to Trash	選択中のファイルをゴミ箱に		
	Get Info	選択中のファイルの情報を見る		
	Page Setup	用紙設定		
	Print	選択中のファイルを印刷		
	Make Disk	選択しているディスクを初期化		
	Quit	終了		
	Can't Undo	直前の操作を取り消します		
	Edit	Cut	カット	
Copy		コピー		
Paste		ペースト		
Clear		消去		
Select All		選択しているウィンドウ内の全てを選択		
Connect	Local	ローカルウィンドウを開く		
	Remote	リモートウィンドウを開く		
Connect	Hide Toolbox	コネクションインジケータを隠す（表示する）		
	Refresh	選択中のウィンドウを最新内容で再表示		
View	SortList	選択中のウィンドウ内のファイル/フォルダを並べ替える項目を選んで実行		
		by Name	ファイル名	
		by Date Modification	ファイル修正日	
		by Size	ファイルサイズ	
		by Kind	ファイルの種類	
	Options	Communication Settings	Allow system suspend	サスペンドを有効にする/無効にする
			Cable ID	ケーブルID番号の設定
	Mac OS setting	Date Modified	修正日の表示/非表示	
		Size	ファイルサイズの表示/非表示	
		Kind	ファイルの種類表示/非表示	
	Windows setting	Read Only	読取専用ファイルの表示/非表示	
		Archive	アーカイブファイルの表示/非表示	
		Hidden	隠しファイルの表示/非表示	
		System	システムファイルの表示/非表示	
	Close	選択中のウィンドウを閉じる		
	Window	開いているウィンドウを全て表示しています		
	ヘルプ	ヘルプメニューが表示されます		

## USBリンクケーブルのアンインストール (Windows)

「スタート」メニューの「設定」の「コントロールパネル」を開いてください。  
(Windows XPの場合:「スタート」メニューの「コントロールパネル」)  
「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックしてください。  
(Windows XPの場合:「プログラムの追加と削除」)  
リストの中から「PC-Linq」を選択してください。  
「変更 / 削除」(OSによっては「追加と削除」)ボタンをクリックしてください。  
「Install Shield Wizard」が起動し確認画面が表示されたら「OK」をクリックして下さい。  
「Install Shield Wizard」が削除を実行します。

## WindowsXP・2000でのリンクケーブルの取り外し方

Windows XP・2000で電源がON(Windows2000が動作中)の時にUSBリンクケーブルを取り外すと「デバイスの取り外しの警告」が表示される場合があります。この場合は、この表示に従って「タスクバーに[取り外し]アイコンを表示する」にチェックをつけ[取り外し]アイコンを使ってから、USBケーブルを取り外すようにしてください。

## USBリンクケーブル用ドライバのアンインストール (Mac)

「システムフォルダ」内の「機能拡張」を開いてください。  
「DataBridgeLib」と「PL2301 Driver」アイコンを選択してください。  
そのままドラッグして、デスクトップのゴミ箱アイコンに重ね、削除してください。  
再起動後、アンインストールが有効になります。

## 仕様

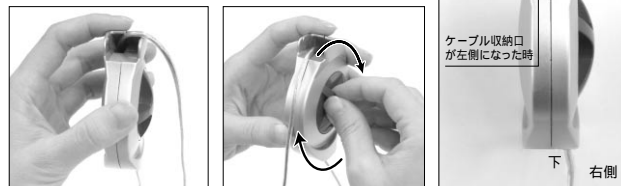
規格..... USB仕様 Ver1.1 準拠  
データ転送速度..... 4Mbps ~ 6Mbps  
消費電流..... 100mA以下  
コネクタ..... USBコネクタ(オス・オス)  
ケーブル長..... 1.2m  
重量..... 約50g  
対応機種..... 各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ  
Apple iMac・iBook・PowerMac G4/G3・PowerBook G4/G3シリーズ  
ただし、CD-ROMドライブとUSBポートを持ち、パソコン本体メーカーが  
USBポートの動作を保証している機種。  
対応OS..... 日本語Microsoft® Windows® XP・2000・Me・98SE・98  
Mac OS 8.6 ~ 9.2.2(Mac OS Xは対応していません。)  
付属品..... 取扱説明書・専用ドライバ(CD-ROM)

## USBリンクケーブルの巻き取り方法/引き出し方法

USBリンクケーブルは、ケーブルを簡単に収納できるように巻き取り式で設計しています。正しい巻き取りをしないと、内部構造により、ケーブルをうまく引き出せない場合がまれに起こります。下記の点に注意して、正しく巻き取りを行ってください。

### 巻き取り方法

巻き取る際は、USBリンクケーブル本体をなるべく「たて方向」に持ってください。  
右手で時計回りの方向に巻き込んでください。  
巻き込み時に、ケーブルを絡ませないようにゆっくりと巻き込んでください。  
この時、写真のように持った場合、上側のケーブルはなるべく左側から下側のケーブルはなるべく右側から巻き込むようにしてください。(ケーブル収納口が逆になった時は、逆にしてください。)  
巻き取り途中でケーブルが絡まってしまったら、無理に巻き込みを続けず、一度、逆回転させて絡みを解消してから巻き取りを行ってください。  
最後に、片方のコネクタだけ余ってしまったら、もう一方のコネクタを同じだけ引き出してから、もう一度、巻き取ってください。  
上記にご注意いただき、順調に最後まで巻き込めると、スムーズに引き出しが行えます。



### 引き出し方法

ケーブルを引き出す際は、机の上などの安定した場所に置いてください。  
まず、コネクタを片側ずつはずします。  
そのまま1 ~ 2cm引っぱり出してから両方のケーブルを持って少しずつ(10cmくらいずつ)何回かに分けて引き出してください。  
途中で引き出しにくくなった場合、無理をして引っ張らないで、中央の巻き取り用のツマミを何度か時計回り/反時計回りに回してみたら引き出ししてください。

